

第28回右城暮石顕彰吉野川全国俳句大会一般の部

賞名	入選句	氏名・俳号	住所
右城暮石賞	嘯家のするりと落す夏羽織	橋本 絹子	高知県高知市
高知県知事賞	見覚えの泣きぼくろあり雪女郎	渡辺 徹	宮城県仙台市
高知県文化財団理事長賞	酔ふほどに神らしくなり里神楽	塚本 治彦	神奈川県茅ヶ崎市
特選	枯草を踏む全身に音のして	勝 王騎	奈良県生駒市
特選	青空を見上げ胸張る捨案山子	川村 栄	愛媛県南宇和郡愛南町
特選	掌のぬくみと共にお年玉	藏本 聖子	福岡県田川市
入選	近道 <sup>はたけ</sup> は畑の真中水着の子	直井 照男	岐阜県高山市
入選	麻醉より覚めて八月十五日	忠弘	北海道石狩市
入選	いごつそうあまり好かれぬ雪女郎	和田 和子	高知県高知市
入選	冬紅葉獵銃二発鳴りにけり	徳廣 由喜子	高知県幡多郡黒潮町
入選	凧や扉を鳴らす砂埃	菅谷 貞夫	千葉県香取郡東庄町
入選	釣銭のふくらむ財布年の暮	柴田 ちぐさ	長崎県島原市
入選	手を洗ふ水の硬さや冬の宿	坂口 和代	神奈川県茅ヶ崎市
入選	色のなき庭動かして笹鳴けり	宮田 良子	福岡県筑紫野市
入選	滝落ちて陽光青を極めけり	豊田 恵造	兵庫県南あわじ市
入選	天空の水と光の今年米	竹内 とし子	高知県南国市
入選	帰省子の背に男の香見え隠れ	猪谷 信子	兵庫県赤穂市
入選	底冷に攻められてゐる膝頭	島原 仁代	福岡県福岡市
入選	句心を無にととのへて初明り	吉田 文代	福岡県福岡市
入選	啓蟄や吾も五尺の背伸びする	藤田 文男	高知県土佐郡土佐町
入選	冬帽子老いてますますお洒落なり	岡田 春人	千葉県柏市
入選	隙ありて一人乗り込む宝船	上西 左大信	大阪府大阪市
入選	去年今年白き台地の一步かな	春來 燕	三重県松阪市
入選	思羽や人に悲しき恋ありて	坂本 喜代子	高知県高知市
入選	降る雪は天の言の葉かもしれぬ	馬場 三知子	福岡県筑紫野市
入選	ボサノバの優しき音色日脚伸ぶ	藤井 隆嗣	愛媛県新居浜市

※ 事前句一般の部には、196人770句の応募がありました。